

# 男子ハンドボール世界トップレベルの速攻の発展傾向に関する研究

氏名 吉兼 練 (201012074、ハンドボールコーチング論)

指導教員：藤本 元、會田 宏、山田 永子

キーワード：世界トップレベル、速攻

## 【目的】

ハンドボール競技における攻撃方法は、速攻と遅攻の2つに分けられる。速攻は相手の防御システムが整わないうちに攻め込む方法であり、有効な攻撃手段である。本研究では、世界トップレベルの試合で展開されている速攻を長期間に渡って分析し、どのように戦術が発展して来たのかを明らかにする。

## 【方法】

対象試合：クイックスローオフ（以後クイック）導入後の2001～2013年までの男子世界選手権7大会における決勝、3位決定戦、準決勝の28試合

分析項目：攻撃回数、速攻回数、総得点、速攻得点、速攻ストップ数、速攻ミス数、速攻シュート本数、速攻占有率、速攻シュート成功率、速攻ストップ率、速攻ミス率、速攻成功率、速攻得点占有率

速攻分類：1次速攻、2次速攻、3次速攻、クイック

## 【結果と考察】

(1) 攻撃回数は2005年まで増加し、それ以降は減少する傾向であった。速攻回数は増加する傾向であったため、速攻占有率も増加する傾向であった（表1）。これらのことから、近年の世界トップチームの試合では、速攻を多く試みようとしていると考えられる。

(2) 総得点は2005年まで増加し、それ以降は減少する傾向であった。速攻得点は増加する傾向であったため、速攻得点占有率も増加する傾向であった。これらのことから、近年の世界トップチームの試合では、速攻での得点の比重が高くなっており、速攻の重要性が増していると考えられる。

(3) 1次速攻、2次速攻の占有率は減少傾向であったが、回数および得点は大きく変化していなかった（表2）。つまり、近年の世界トップチームでは、1次速攻を有効な攻撃手段として全ての大会で試みているにも関わらず、速攻占有率が減少していたことから、その他の速攻局面での攻撃回数が増加していることが考えられる。

(4) 3次速攻の回数、占有率、得点は増加する傾向であったことから、近年の世界トップチームの試合では、3次速攻の重要性が増していると考えられる。また、ストップ数も増加する傾向であったことから、

3次速攻を試みているが、攻撃の継続を見極めていることが考えられる。

(5) クイックの回数、占有率、得点は増加する傾向であったことから、近年の世界トップチームの試合では、クイックは3次速攻同様にその重要度が増していると考えられる。また、ストップ数も増加する傾向であったことから、クイックを試みているが、その継続を見極めていることが考えられる。

## 【結論】

(1) 男子世界トップレベルのゲームでは、速攻を多く試みようとしている傾向にある。

(2) 速攻での得点の比重が高くなっており、速攻の重要性が増している傾向にある。

(3) 3次速攻とクイックは重要性が増しているが、いずれも継続を見極めながら使用されている傾向にある。

表1 速攻の回数、占有率、得点、得点占有率

	2001年	2003年	2005年	2007年	2009年	2011年	2013年
回数(回)	9.9±5.1	11.9±5.1	12.3±3.8	12.8±4.4	11.5±4.2	14.8±4.8	15.3±7.3
占有率(%)	18.0	19.5	19.1	20.4	19.3	24.5	24.9
得点(点)	5.4±2.2	6.6±3.9	7.6±2.6	7.5±2.9	5.8±1.6	7.1±2.9	9.4±3.5
得点占有率(%)	22.5	22.6	24.0	28.1	26.4	29.2	35.4

表2 速攻分類別の回数、占有率

	2001年	2003年	2005年	2007年	2009年	2011年	2013年	
1次速攻	回数(回)	3.8±2.8	4.3±3.8	5.3±2.0	5.5±2.1	5.4±3.7	2.6±1.7	5.6±2.9
	占有率(%)	50.0	50.0	45.2	43.1	31.2	16.8	33.6
2次速攻	回数(回)	2.3±3.4	2.5±2.2	2.3±1.7	1.8±1.0	3.8±2.3	3.5±1.3	1.6±2.6
	占有率(%)	30.0	30.0	19.4	13.7	15.3	22.4	10.9
3次速攻	回数(回)	1.4±3.4	3.0±2.5	2.9±2.8	4.0±4.8	5.3±3.5	6.3±3.7	5.7±3.7
	占有率(%)	18.3	18.3	24.7	31.4	38.4	40.3	31.1
クイック	回数(回)	0.1±0.4	1.0±5.7	1.3±4.6	1.5±5.7	5.5±4.6	3.3±4.8	3.6±5.4
	占有率(%)	1.7	1.7	10.8	11.8	28.0	20.8	24.4